



学習指導要領改訂に向けたTOMASの取り組み

## この春、TOMASの個別指導がさらに進化します。

### 「発問型個別指導」の効果を さらに高める時間割改編のご案内

いま、日本の教育が大きく変わろうとしています。2020年から始まる大学入学共通テストをはじめ、高校入試・中学入試でも従来の知識重視型の入試から、思考力や表現力を問う入試へと大きくシフトしています。

TOMASでは、知識を一方向的に詰め込む一斉指導型の授業ではなく、時代に先駆けて完全1対1の個別指導を実践してきました。先生が生徒に質問を投げかけ、生徒がそれに答える形で展開していくアクティブラーニング型の授業は、生徒の思考力・表現力を伸ばすうえで最も効果的な方法と言われます。

この「発問型個別指導」の成果を一層高めるため、2019年3月1日より、現在の90分授業を80分授業へと変更し、時間割を改編します。

一般的に生徒が連続して集中できる時間の限界は90分程度であると言われてますが、80分に短縮することで、1回ごとの授業への集中力を高め、より濃密な個別指導の実現をめざします。

また時間割の改編により、これまで学校の終了時間とTOMAS授業開始時間が合わず受講できなかった生徒に対して、より多くの選択肢をご提供することが可能になります。

※1授業あたり10分短縮されるため授業料も値下げいたします。

これからも私たちは、お子様の夢の志望校合格を全力でサポートしてまいります。